



## 平成23年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成22年7月28日

上場会社名 株式会社 エスティック

コード番号 6161 URL <http://www.estic.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鈴木 弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 伊勢嶋 勇

TEL 06-6993-8855

四半期報告書提出予定日 平成22年8月3日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第1四半期の業績(平成22年3月21日～平成22年6月20日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	412	70.0	54		54		31	
22年3月期第1四半期	242		12		10		11	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	2,347.92	
22年3月期第1四半期	828.84	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	2,715	2,458	90.5	180,808.63
22年3月期	2,710	2,492	92.0	183,300.20

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 2,458百万円 22年3月期 2,492百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期				5,000.00	5,000.00
23年3月期					
23年3月期(予想)				4,000.00	4,000.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年3月21日～平成23年3月20日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	845	19.0	89	442.7	95		54		3,995.07
通期	1,700	20.5	169	103.6	181	136.6	103	198.3	7,591.90

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等]4.その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更	無
以外の変更	無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期第1四半期	14,710株	22年3月期	14,710株
期末自己株式数	23年3月期第1四半期	1,113株	22年3月期	1,113株
期中平均株式数(四半期累計期間)	23年3月期第1四半期	13,597株	22年3月期第1四半期	13,597株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、景気の後退局面を脱し、緩やかに回復傾向を示しつつも依然先行き不透明な状況は払拭できず、各社とも積極的な設備投資に及びづらい状況が続いております。

当社の主力販売先であります自動車産業も、減税効果等もあり一部の車種については好調な販売状況を示しており工場の稼働率は回復傾向にありますが、本格的な購買需要の回復とは言えず、結果的に設備計画にも弾みがつきづらい環境にあります。

他方、海外においては依然好調な中国を中心に展開する状況に大きな変化はありませんが、米国やブラジルなど一部の地域では設備投資に回復の兆しが見え始めてきており、また従前から進めております海外代理店の見直し、教育、新規設置といった海外展開の強化にも努めてまいりました。

その結果、当第1四半期会計期間は、売上高412百万円（前年同四半期比70.0%増）、営業利益54百万円（前年同四半期は12百万円の営業損失）、経常利益54百万円（前年同四半期は10百万円の経常損失）、四半期純利益31百万円（前年同四半期は11百万円の四半期純損失）となりました。

なお、当社製品は、ネジ締付装置、同部品及びネジ締付工具でありますので、単一セグメントとして市場環境を判断しております。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第1四半期会計期間末における資産合計は、2,715百万円と前事業年度末比5百万円の増加となりました。

これは流動資産については、受取手形及び売掛金の増加などの影響により1,928百万円と前事業年度末比3百万円の増加となり、固定資産については、787百万円と前事業年度末比1百万円の増加となったことによるものです。

(負債の部)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、257百万円と前事業年度末比39百万円の増加となりました。

これは主に未払法人税等が12百万円減少した一方、買掛金12百万円、その他48百万円増加したことなどによるものです。

(純資産の部)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、2,458百万円と前事業年度末比33百万円の減少となりました。

これは主に利益剰余金が36百万円減少したことなどによるものです。

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物の残高は582百万円となり、前事業年度末に比べて53百万円の減少となりました。

各キャッシュ・フロー別の状況は次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは6百万円の収入となりました。

これは主に、税引前四半期純利益54百万円、たな卸資産の減少26百万円、仕入債務の増加12百万円などの増加要因があったものの、売上債権の増加76百万円、法人税等の支払額35百万円などの減少要因があったことによるものです。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは1百万円の支出となりました。

これは主に、定期預金の払戻による収入20百万円の増加要因があったものの、定期預金の預入による支出20百万円などの減少要因があったことによるものです。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは59百万円の支出となりました。

これは、配当金の支払額59百万円の減少要因があったことによるものです。

## 3. 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期会計期間の業績につきましては、概ね年初計画に近い状況で推移しており、現在の状況から推測して今後も当初想定範囲内で推移するものと見込んでおりますので、平成22年4月30日公表しました業績予想からの変更はありません。

## 4. その他

### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 棚卸資産の評価方法

棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

### (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5.【四半期財務諸表】  
 (1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月20日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	633,097	686,797
受取手形及び売掛金	795,055	718,341
製品	84,132	76,709
原材料	338,442	342,187
仕掛品	56,043	86,039
その他	54,961	48,103
貸倒引当金	33,663	33,516
流動資産合計	1,928,069	1,924,663
固定資産		
有形固定資産		
土地	413,240	413,240
その他(純額)	119,332	123,054
有形固定資産合計	532,572	536,294
無形固定資産		
投資その他の資産	11,760	12,758
その他	243,629	237,061
貸倒引当金	500	500
投資その他の資産合計	243,129	236,561
固定資産合計	787,462	785,614
資産合計	2,715,531	2,710,277
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	75,913	63,743
未払法人税等	26,325	39,000
賞与引当金	5,113	17,586
その他	83,532	35,168
流動負債合計	190,884	155,498
固定負債		
退職給付引当金	66,192	62,447
固定負債合計	66,192	62,447
負債合計	257,076	217,945
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	557,000	557,000
資本剰余金	639,750	639,750
利益剰余金	1,475,775	1,511,835
自己株式	217,684	217,684
株主資本合計	2,454,840	2,490,900
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,614	1,432
評価・換算差額等合計	3,614	1,432
純資産合計	2,458,454	2,492,332
負債純資産合計	2,715,531	2,710,277

(2)【四半期損益計算書】  
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年3月21日 至平成21年6月20日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年3月21日 至平成22年6月20日)
売上高	242,726	412,626
売上原価	166,539	271,537
売上総利益	76,187	141,088
販売費及び一般管理費	88,370	86,808
営業利益又は営業損失( )	12,183	54,280
営業外収益		
受取利息	62	39
受取配当金	33	33
為替差益	527	932
デリバティブ評価益	490	-
その他	518	221
営業外収益合計	1,631	1,226
営業外費用		
デリバティブ評価損	-	1,010
営業外費用合計	-	1,010
経常利益又は経常損失( )	10,551	54,496
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失( )	10,551	54,496
法人税、住民税及び事業税	358	24,142
法人税等調整額	359	1,570
法人税等合計	718	22,572
四半期純利益又は四半期純損失( )	11,269	31,924

## (3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年3月21日 至平成21年6月20日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年3月21日 至平成22年6月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 ( )	10,551	54,496
減価償却費	6,126	4,720
貸倒引当金の増減額( は減少)	2,441	147
賞与引当金の増減額( は減少)	12,528	12,472
退職給付引当金の増減額( は減少)	3,325	3,745
受取利息及び受取配当金	95	72
為替差損益( は益)	362	736
デリバティブ評価損益( は益)	490	1,010
売上債権の増減額( は増加)	215,875	76,713
たな卸資産の増減額( は増加)	55,885	26,318
仕入債務の増減額( は減少)	11,171	12,169
その他	45,573	30,082
小計	139,234	42,695
利息及び配当金の受取額	163	93
法人税等の支払額	76,542	35,869
営業活動によるキャッシュ・フロー	62,854	6,919
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	20,000	20,000
定期預金の払戻による収入	20,000	20,000
有形固定資産の取得による支出	6,097	940
投資有価証券の取得による支出	749	748
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,846	1,688
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	58,768	59,667
財務活動によるキャッシュ・フロー	58,768	59,667
現金及び現金同等物に係る換算差額	362	736
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	3,121	53,700
現金及び現金同等物の期首残高	389,918	635,797
現金及び現金同等物の四半期末残高	386,796	582,097

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。